

一般社団法人 日本血管内留置カテーテル研究協議会

賛助会員募集に関する趣意書

一般社団法人 日本血管内留置カテーテル研究協議会

代表理事

安田 英人



発行日：2025年3月26日

一般社団法人日本血管内留置カテーテル研究協議会賛助会員募集にあたり

本邦における血管内留置カテーテル(Vascular Access Device:VAD)管理は、まだ世界標準に追いついておらず、発展の途上にあります。その理由の一つは、日本発のVAD関連研究の質と量が不足していることにあります。国際的な知見だけでは、自国のデータによる裏付けがないため、医療従事者の行動を変えるには説得力に欠けるのです。

本邦のVAD管理を世界標準に近づけるためには、まず日本発の知見を積み重ねることが不可欠です。しかし、現状では、VAD関連の研究は盛んとは言えず、問題意識を持った医療従事者が個々に取り組んでいるのが実情です。世界的にも、個人の研究だけでは医療従事者の行動変容は難しく、同じ問題意識を持つ多くの研究者が議論することで、より良い研究成果が期待できます。そのため、VAD関連の研究について議論するプラットフォームの場を作ることが急務であり、将来の発展のためにも若手研究者の育成が必要不可欠なのです。

さらに、本邦のVAD管理を世界標準に近づけるには、新たな国際的ネットワークの形成が重要です。このネットワークを通じて、日本のVAD管理に不足している点を明確にし、今後進むべき方向性を見出すことができます。しかし、現状では、日本は世界のネットワークから孤立しており、国内に国際ネットワークのハブとなる組織が存在しません。そのため、国際ネットワークの中心となりうる国内の研究・教育組織の設立が急務なのです。

このような背景を持つ本邦の現状に問題点を感じた私たちは、どうしたら本邦におけるVAD管理の質向上が図れるのかと熟慮に熟慮を重ね、2024年(令和六年)7月3日、一般社団法人日本血管内留置カテーテル研究協議会を設立いたしました。

日本血管内留置カテーテル研究協議会は、VAD全般にわたる研究を広く行い、日本から発信するエビデンスをもとに、本邦におけるVAD管理の世界標準化を目指します。また海外の研究教育団体との連携を図り、本邦独自のプラクティクスにならぬよう、世界を見据えた本邦流のVAD管理の標準化と普及の核となる組織になるべく活動を行いたいと考えております。そのために、若手研究者の育成、多施設研究実施、国際研究への参加、そしてそれらの知見をもとにした標準的はVAD管理教育を目指します。具体的な活動は国内におけるVADに関する研究のプラットフォームとしての定期ミーティングを軸として本研究会主導多施設研究の実施、若手研究者の育成を目指して研究相談窓口の設置、情報共有の場としてのメーリングリスト・ソーシャルネットワーキングサービスの活用、そして会員へのVAD管理に関する研究教育ツールの共有を行います。また、日本血管内留置カテーテル研究協議会が日本における国際ネットワークの中心となることで、国際共同研究への参画も可能となり、日本のVAD管理のレベル向上にも貢献できるのです。研究を研究だけで終わらせず、研究を真の意味で社会に還元する一つの道筋として、日本血管内留置カテーテル研究協議会は新たな道を切り拓いていきます。

しかし、このような先進的な取り組みに対し、当協議会としても最大限の運営努力を行って進めておりますが、財政基盤が十分ではありません。つきましては、このご趣旨に、ご理解、ご賛同賜りお願い申し上げます。

日本血管内留置カテーテル研究協議会が提供する研究・教育の対象は、あらゆる場で働く医療従事者です。医師のみならず看護師、薬剤師、栄養士、感染管理チーム、医療安全など VAD 管理に携わる全ての医療従事者を対象として、より安全な VAD 管理を達成できるように研究及び教育活動を提供していくことが日本血管内留置カテーテル研究協議会の使命であると考えています。未来に向けて、日本血管内留置カテーテル研究協議会は歩み続けます。

ぜひ、私たちの活動から、本邦においても世界標準を超えたより安全な VAD 管理に関する研究・教育の息吹を感じていただき、皆様方からの格別のご支援、ご高配を賜りたく心よりお願い申し上げます。

2025 年（令和七年）3 月吉日

一般社団法人 日本血管内留置カテーテル研究協議会
代表理事 安田 英人



賛助会員募集要項

1. 目標額

1 0 0 0 万円

2. 賛助会員の用途

これまで本邦における VAD 関連の研究・教育に興味があり実施してきた医療従事者のプラットフォームとなるような研究会を開催し、研究の質向上を達成すべく教育コンテンツの開発提供と行うとともに、多施設研究を実施し本邦発のエビデンスをもとに本邦における VAD 管理の標準的なプラクティクス確立を目的としそれらを達成するために、日本血管内留置カテーテル研究協議会を設立し以下の事業ならびに運営を行います。

- 1) 定期的な研究ミーティング開催
- 2) 若手研究者の育成
- 3) 教育コンテンツ作成
- 4) VAD 関連の研究及び教育に関する情報の発信（ホームページ、メーリングリスト、ソーシャルネットワーキングサービスなど）
- 5) 教育講演会開催（国内及び国際）
- 6) 一般社団法人運営
- 7) その他

3. 期間

賛助会員費入金確認日より 2025 年 12 月 31 日まで

4. 金額

賛助会員の場合、1 口あたり¥50,000 とさせていただきます。口数に制限はございません。賛助会員の期間は振込日より 1 年間とさせていただきます。

5. お申込方法

別添の寄付・賛助会員通知書にご記入の上、担当までお送りください。

6. お振込先

みずほ銀行（銀行コード：0001） 本郷支店（店番号：075）

普通預金 4236450

口座名義：一般社団法人日本血管内留置カテーテル研究協議会

シャ)ニホンケツカンナイリユウチカテーテルケンキユウキョウギカイ

ご入金確認後領収書をお送りいたします。お手元に届くまで約 2 週間をご了承下さい。

7. その他

ご賛同を頂きました場合には、当研究所ホームページに御社様のご芳名またはホームページ URL を掲載させていただきます。（なお、ご芳名の掲載を希望されない場合には、その旨、ご連絡下さい。）また、6 口以上お申し込みいただいた賛助会員の方には日本血管内カテーテル教育協議会の活動報告を 2 か月に 1 度お送りいたします。

8. ご連絡・お問合せ先

一般社団法人日本血管内留置カテーテル研究協議会

E-mail: jivcares-office@jivcares.com

担当： 小路和幸・安田英人

賛助会員申込書

E-MAIL : jivcares-office@jivcares.com

申込日 年 月 日

一般社団法人日本血管内留置カテーテル研究協議会
代表理事 安田 英人 殿

一般社団法人日本血管内留置カテーテル研究協議会の活動に賛同し、下記のとおり賛助会員を申し込みます。

口数 _____ 口

金額 _____ 円

振込予定日 年 月 日

【ご寄付者】

ご芳名／法人名	
ご住所	〒

【法人 ご担当者連絡先】

氏名	
ご連絡先	〒
電話番号	
E-MAIL	
請求書発行の有無 (請求書宛名をお知らせください)	
備考	